

～第33回ファミリー参拝開催～ キッズサンガでお寺に集う!



今年は家族みんなで「風鈴」づくりに挑戦しました (29.7.8)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会
朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

▼「大安も友引もなし法(のり)の家」と言う一句があります。日の吉凶がある文化は日本特有のもので、「日々是好日」であります。▼最近、葬儀のお斎も寺院控室でなく皆さんと一緒に講堂で行うことが多くなりました。▼又、最近、お斎会席の発声に「献杯」と言う言葉をよく聞きます。これは、大安・友引のように古くから言い慣わされてきたものでなく、ごく最近のことのように思われますが、今や法事の後の会食(お斎)の始まりの合図として献杯が一般化しているようです。▼普通なら「乾杯」と言うところを御祝い事でもないし拍手するのもおかしいので、献杯と言うのかもしれない。▼それではどう言えばよいかわかりませんが、浄土真宗の「食前の言葉」「多くの命と、皆様のおかげによりこの馳走を恵まれました。深く御恩を喜び、ありがたくいただきます。」と唱和することが理想的ですが、施主から指名を受けたら、簡単に挨拶し簡略に「それでは皆さん、故人を偲びいただきます。よろしく。」と、大人は勿論子供にも通じる素晴らしい言葉で進めたら如何でしょうか。▼(法要)をご縁に良い文化を子孫に残していきましよう。▼このところ七回忌も過ぎますと、めっきり法事をされる方が少なくなりました。「のど元過ぎれば熱さを忘れる。」「親の言うようにはなかなかならないが、親のやるようにはなる。」と言う喩えがあります。が、生前は勿論、亡き後も親や先祖を大事にしない人は、やがて自分も大事にされなくなりませう。▼「回忌表」を参考に家族で日時を話し合い、お寺と相談し計画してはどうでしょうか。▼きたる十一月十二日は当山の報恩講(親鸞さまの「法事」)です。皆様のご参拝をお待ちいたしております。

釋 玄真

ご寺院行事

- 11月12日(日) 報恩講法要 前10:00
講師 井上慶真先生(飯山市)
- 1月1日(月) 元旦会(法要) 前7:00
- 1月16日(火) ご正當法要(新年初まいる) 前10:00
- 3月21日(水) 春の彼岸法要 前10:00
講師 日野宗邦先生(新潟県)

ご定例法話会

- 11月20日(月) 講師 柏倉学法先生(千葉県)
 - 12月20日(水) 講師 増田廣樹先生(茨城県)
 - 1月20日(土) 講師 木賈慈教先生(長野市)
 - 2月20日(火) 講師 三峯靈証先生(福井県)
 - 3月20日(火) 講師 日野宗邦先生(新潟県)
- いずれも毎月20日 夜7:00からです。

ファミリー参拝のようす



讃仏偈でおつとめ



献灯献花する代表の子どもたち



恒例の流しソーマン



今年はバルーンアートも登場!

第三十八回目早朝連続参拝に
延べ五百七十人参加(皆勤三十八人)

第三十八回目の早朝連続参拝が八月一日から十日間行われ、昨年とほぼ同じ、延べ五百七十人が参加。今年も皆さん熱心にお勤めされました。

東京では二十一日間連続のマークを記録、当地も涼しい朝が多かった中での連続参拝でした。

今年は、若院による「優しい歎異抄」をテーマにした講話を七日間聴聞させていただきました。

十八条からなる歎異抄のうち、親鸞聖人の法語が示された一、十条について、毎回プリントが配布されて、かみ砕いたお話を聞くことができました。改めて浄土真宗のみ教えの真髄に触れることができた講話となりました。

初日の挨拶でご住職は、三十八年前を振り返り、庫裏本堂から陸屋根の本堂に、そして破風屋根の本堂にと。又、会館庫裏建設から二十五年経過し、今回の大規模営繕を実施できたのは護寺協力金など門信徒の篤いお心のおかげと、感謝の言葉を話されました。

また、六日目の日曜日には、長野市西光寺住職の山崎慶雅先生から「お念仏をいただく」と題した講話を聴聞させていただきました。

今年も七人の方々から感話発表がありました。七人の方々から生きがいになっていることや、趣味、先端技術等々貴重なお話をお聞きすることができました。



朝五時から出迎える教化委員の皆さん



日曜日に撮影した記念写真 (29.8.6)

— 特集 — 「法事」について

— 法事の法とは仏法の「法」である —

法事とは、読んで字の如く「仏法の事」で、本来は仏教全般のことを意味するものです。しかし、一般的には先祖や肉親の命日に営まれる法要（く回忌）を法事と呼ぶのが普通です。当たり前前のことですが、自分が現在いるのは先祖あつてのものです。父・母がいなければ我が命はありません。法事とは、もう二度と生きて会えることのない故人を偲び、故人に感謝の誠をささげる行事なのです。他宗でいう「追善供養」と同じと思うか

— 故人のおかげさまで 如来の教えを聞く —

故人の命日に法事を営むのは、故人の霊を慰めるために行うのはありませぬ。浄土真宗では、故人の命日を機縁として、この私がしっかりと生きていくために、亡き人を偲びつつ仏の教えを聞くことが大切である、とされています。

もしもありませんが、そうではありませぬ。

平成30年回忌表 (あなたのお家は?)

1周忌	平成29年
3回忌	平成28年
7回忌	平成24年
13回忌	平成18年
17回忌	平成14年
23回忌	平成8年
27回忌	平成4年
33回忌	昭和61年
37回忌	昭和57年
50回忌	昭和44年
100回忌	大正8年

(上記を参考に予定ください。)



塚間川の橋を渡り木戸の門をくぐり、右手のお庭を拝見しながら訪問させていただきました。逸子さんは岡谷・湊で八人兄弟の五番目に生まれました。物事は全て前向きに考える性格で、若い頃は、都会に憧れ東京に出たかったのですが叶わず、岡谷組の事務に勤務。その岡谷組でご主人となる耕一さんと出会いました。

しょう しき
青色
しょう こう
青光
六十六回

晨朝参拜でお仲間と語らう

関野 逸子 さん
岡谷市郷田

結婚されて間もなく建設業「関野組」を共に立ち上げ、昭和六十三年には株式会社改組し、公共事業を中心に様々な事業に関わりました。其の間逸子さんは、任された営業や事務等全てを一手に担い二人三脚で頑張つて来ました。

会社は隆盛の一途を辿っていましたが、ご主人は御病気が悪化し、平成二十二年ご浄土に還られました。元々前向きな逸子さんは、以前から嗜んでいた華道・茶道の許状を取得され、今でも熱心に続けています。茶道は裏千家で、「宗逸」の茶名を戴き今も仲間と楽しみながら精進しています。

また、家のあちらこちらに優しい花々が楚々として飾られ、訪ねた人の心を癒しています。

逸子さんは、自分ながら何事も熱心に続けてきたのだと振り返り、私のモットーは「真面目に人と関わることです。」と、目を細めてお話をされました。又、人生様々な人に出会ったことで、人の心を推し量ることが出来るように思うと、穏やかな表情で話してくださいました。

今は、朝七時の晨朝参拜に毎日お寺へ足を運び、仲間の門徒さんたちと、楽しく会話をされています。

(滝川 記)

門徒総代の異動

七月十六日付

宗教法人敬念寺の門徒総代に異動等
がありましたので紹介いたします。

- 留任 山下 幸治様 (責任役員)
- 新任 牛越 昭様
- 新任 小林 睦巳様
- 退任 宇都宮 正様
- 退任 大洞 軍治様

(解説) 宗教法人敬念寺・寺則で
寺院の諮問機関として「門徒総
代」三人を門徒の中から、住職が
委嘱することになっていきます(任
期四年)。また、その内の一名は
「責任役員」として本山総長から
任命されています。門徒総代は、
住職を補佐し、寺門の護持発展に
努めることとされています。



牛越 昭・山下幸治・小林睦巳の各氏 (29.7.16)

トピックス!

第一駐車場の入り口が
拡張されました!

七月に滋賀教区仏婦連盟「聞法
の旅」一行約四百人が四班で来訪
しました。大型バスを受入れるた
め、第一駐車場の入り口を拡張す
る工事が行われました。



大型バスも駐車可能となりました (29.7.3)

墓地管理費納入のお願い!

敬念寺墓地(丸戸墓地・境内墓
地)の管理費徴収の年です。
平成二十九年から三十一年まで
の三か年分を徴収させていただきます。
(二区画千円×三か年分)
依頼書と同封の振込用紙により
十二月末日までに納入をお願い
いたします。
(注) 門信徒会費と混同しないよう
にご注意ください。

シリーズ 住職さんといっしょ!

No.12

後藤 豊氏のひ孫さん



妻の故松子さんの3回忌法要にて (29.10.1)
長女 和子さんの孫 上段右より 大友遥斗君、芽衣ちゃん、陽葵ちゃん
次女 素子さんの孫 浦本凜ちゃん、湊史君

御礼

門信徒会費納入と護寺協力金

今年度の門信徒会費と護寺協力
金につきまして、皆様方にはそれ
ぞれご配慮いただきありがとうございます。
また、お世話の諸君には説明とお願
いにおかけしました。お陰様で円滑
に進めることができ、特に、「護寺
協力金」につきましては、その趣
旨をご理解いただき、八十三万余
円(前年度比で約二十八%増)の
尊いお心を賜り、全額「護寺基本
金」会計へ積み立てることができ
ました。ありがとうございました。

- 門信徒会長 千原 博幸
- 財務委員長 谷腰 富春

平成二十九年年度

報恩講法要のご案内

今年最後の法要です。おさそい合わせてお参り下さい!

- ◆日 時 平成二十九年十一月十二日(日) 午前十時より
- ◆行事日程 (開始十分前には入堂ご着席ください。)
- 受付 九時三十分～九時五十分
- 報恩講法要 十時～十時四十五分
- コールガンダー・仏教讃歌の発表 十時五十分～十一時
- 法 話 十一時～十二時
- 講師 井 上 慶 真 先生(飯山市)
- ◆おとき(会食) 十二時～十三時
- ◆報恩講協賛 門信徒作品展・菊花・山野草展示他

